



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより受講した高校生が増え、起業に対する意識付けが広まっていくために必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	将来性の高い高校生を対象にキャリア教育を通じて、起業の意識付けをすることは有効性がある。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	起業家精神の導入として妥当性がある。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	自ら起業した人を講師として依頼しており、学校ごとに柔軟な講演が可能であるため効率性が高い。	● 高 ○ 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを研究する。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	30	45	30	0	0
事業費 (A)		0	0	30	45	30	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.16	0.16	0.16	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,343	1,343	1,343	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,373	1,388	1,373	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 高校生を対象とした起業家創出講演会については、高校の指導方針に沿った柔軟な対応を行い、また、創業塾については、企業家の創出支援を行う。	
平成21年度 of 取組方針	
産業情報の提供や研修会などの開催を支援する。	
課長コメント	高校生を対象に次世代の産業の担い手としての企業家の創出と就職支援を行う事業であるが、企業家や新産業の創出は簡単にできるものではない。講演会への参加者は目標にほぼ達しているので事業化継続するが、事業の方向性は検討の余地があるものと思われる。